

保護者の皆様へ

名張市立桔梗が丘中学校
校長 西山 尚吾

新学習指導要領実施に伴う新たな学習評価について

陽春の候、保護者の皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の学校教育にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、中学校においては、本年度より新しい学習指導要領が全面実施されます。学習指導要領とは、文部科学省が全国どこの学校で教育を受けても、一定の教育水準を確保するために、各教科等の目標や内容などを定めているものです。教科書の内容や学校での学習指導と学習評価の基となるものです。各学校では、学習指導要領に定められる各教科等の指導事項や、授業時数等を踏まえ、地域や学校の実態に応じて、各学校が定める教育目標を実現するために、教育課程を編成し、指導と評価の計画を立てています。

今回の改訂では、未来を生きる子どもたちが、社会に出ても学校で学んだことを生かせるよう、

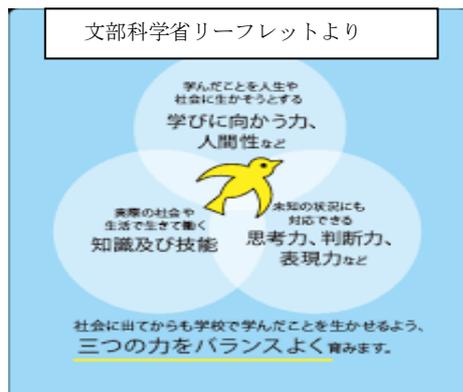
- (1) 知識及び技能
- (2) 思考力、判断力、表現力等
- (3) 学びに向かう力、人間性等

の三つの力をバランスよくつけていくことを目指しています。

このことに伴い、各教科の観点別学習状況の評価の観点についても、これまでの4観点の評価から、3観点での評価に整理されました。

これまでの学習評価
(4観点 5段階)

これからの学習評価
(3観点 5段階)



関心・意欲・態度

思考・判断・表現

技能

知識・理解



知識・技能
各教科等における知識及び技能の習得状況について評価するとともに、既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価します。

思考・判断・表現
各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。

主体的に取り組む態度
知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について粘り強く取り組み続ける姿や、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。

各教科における評価は、集団内の位置付けではなく、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして、一人ひとりの学習の状況の評価するものです。生徒に対しては、各教科の授業の中で、評価の詳しい内容等について説明をさせていただきます。

保護者の皆様におかれましては、生徒一人ひとりが、教科等の目標をどこまで達成したかを示していきますので、よく達成できたところはほめて伸ばしていただくように、課題があるところは今後どのように学習していくかを共に考え、次の学習への自信や意欲につなげていただくようお願いいたします。